



南三陸町立歌津中学校

歌津中学校だより

た つ が ね

教育目標 志をもち、たくましく未来を拓く生徒の育成



令和7年7月18日

第10号

文責：中村早苗

令和7年7月現在：1年25名/2年30名/3年37名 計92名 学級数：6学級

終業式 7/18 (金)

71日間の1学期が終了し、本日終業式が行われました。保護者の皆様には日々の学校生活において多くの場面で温かいご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございました。式では校長式辞に続き、各学年生徒代表として、1年の守屋聡悟さん、2年の及川真乃愛さん、3年の千葉善晴さんが「1学期を振り返って」の感想を発表しました。それぞれが、何事にも前向きに、全力で取り組んだ1学期だったことが伝わる、力強い言葉でした。今年の夏休みも厳しい暑さが予想されますが、生徒の皆さんには、安全に、そして元気に過ごしてほしいと願っています。

【1学期終業式 校長式辞から】

最近、蝉の声を聞くようになりました。「いよいよ夏がはじまるなあ」という感じです。さて、今日で一学期が終了となります。登校日71日間ありました。この間、修学旅行があり、校外学習があり、運動会があり、中体連地区大会もあり、そして昨日は、炊き出し訓練がありました。

その他、様々なテスト、各教科の授業・・・本当に、この一学期は、たくさんのことがあり、充実していました。PASSION これは今年度の生徒会テーマですね。「熱意を持つ」という意味を持つ生徒会テーマですが、みなさんはテーマどおりに頑張ることができましたか？

1学期、私からみれば、皆さんは充分頑張っていたと思います。

中総体女子バレー、駅伝女子優勝、男女バスケ3位、河北杯争奪野球大会優勝、そして個人の種目においても、剣道や陸上大会において、たくさんの1位や入賞を果たし、県大会へ進んだ生徒もいます。文化面では吹奏楽部銀賞。大編成で臨んだ吹奏楽部の演奏は、会場を魅了するととても素晴らしいものでした。

運動会の選手宣誓、応援、係の仕事、競技、踊り、学習面での頑張り・・・

どの部分にも充分にPASSIONを感じる事ができました。

2学期も中総体新人戦や文化祭、アンサンブルコンテストをはじめ、たくさんの行事が待っています。夏休み中に心と体を整えながらしっかりと準備しておきましょう。

さて、歌中PTCA新聞にも書かせていただきましたが、7月3日に東北地区校長会があり、元バスケットボール日本代表で、Wリーグ・トヨタ自動車アンテロープスのヘッドコーチ大神雄子さんのお話を聞く機会がありました。ご自身の夢であるバスケットボールの世界で成功された方だけに、心に響くたくさんのメッセージがありました。大神さんは「『挑戦』することが好き」なのだそうです。「『挑戦』とは、誰かに勝つとか負けるとかということではなく、クリアできたか、できなかったそれだけのことで、全て自分中心のこと。誰かと比べるものでもない。自分で『挑戦』することを決め、『挑戦』してダメだったら、また『挑戦』する。これを繰り返しているうちに、大きく成長することができる。」と話していました。人生においては、「結果」も大切ですが、「課程」もより大切であることを教えてくれました。「結果」だけが人を大きくするのではなく「課程」も人を大きくする！そう思いました。

みなさんも夏休み中、それぞれに、『挑戦』すべきことを見付け、『挑戦』を繰り返しながら、大きく成長し、2学期に備えてください。

8月26日の始業式の日、みなで元気に再会することを約束して、式辞といたします。

南三陸町立歌津中学校校長 熊谷岳哉



吹奏楽コンクール 気仙沼・本吉地区大会 7/13 (日) 開催

7月13日(日)、登米祝祭劇場 水の里ホールにて吹奏楽コンクール 気仙沼・本吉地区大会が開催されました。本校からは奏楽部の29名が参加しました。今年度は、大編成(多数の演奏者で構成され、

各パートに複数人が配置されることで、より厚みのある演奏が可能な部門)での出場となりました。演奏曲は、課題曲「メモリーズ・リフレイン」、自由曲「ラ・レーヌ・ヴィクトリア〜バルモラルの記憶〜」です。本番では、部員一人ひとりが心を込めて素晴らしい演奏を披露し、銀賞を受賞しました。コンクール終了後には、「楽しく演奏できた」と笑顔で感想を話してくれる生徒もあり、充実した経験になったことがうかがえました。



炊き出し訓練 7/17 (木)

7月17日(木)に体育館ピロティにて、炊き出し訓練を実施しました。地域の婦人会の皆さま、消防署方々、そして学校運営協議会の牧野さん、歌津公民館の山内さんにご指導を頂きながら、訓練を進めました。

生徒たちは、自分たちで道具の準備や材料の分配を行い、薪に火をつけて、豚汁を作り、ご飯を炊きました。ご飯は、大きな鍋に米と水を入れ、かき混ぜながら炊く方法で調理しましたが、火加減の調整が難しく、思うようには炊けなかった班もあったようです。

昨年度からさまざまな訓練をしてきた2、3年生は手際も良く作業をテキパキと行動していました。経験を重ねることで確かな力がつくことを改めて実感する機会となりました。

秋には、避難所運営活動があります。今回の経験を活かし、より実践的な力を養ってほしいと思います。

